



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年2月4日

上場会社名 株式会社サンマルクホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3395 URL <http://www.saint-marc-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 直之
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 綱嶋 耕二 (TEL) 086 (246) 0309
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日 配当支払開始予定日 ——
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|--------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 30,691 | 10.3 | 4,920 | 11.9 | 4,935 | 10.8 | 2,438 | 3.1 |
| 22年3月期第3四半期 | 27,830 | 2.2 | 4,398 | △2.1 | 4,453 | △0.9 | 2,365 | 3.0 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 215.30 | — |
| 22年3月期第3四半期 | 208.86 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 36,208 | 28,923 | 79.9 | 2,553.81 |
| 22年3月期 | 34,251 | 27,497 | 80.3 | 2,427.80 |

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 28,923百万円 22年3月期 27,497百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 39.00 | — | 46.00 | 85.00 |
| 23年3月期 | — | 42.50 | — | | |
| 23年3月期(予想) | | | | 42.50 | 85.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 41,319 | 9.5 | 6,791 | 9.4 | 6,800 | 8.2 | 3,380 | 3.9 | 298.43 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 ー社 (社名) _____、除外 ー社 (社名) _____

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 23年3月期3Q | 11,388,685株 | 22年3月期 | 11,388,685株 |
| 23年3月期3Q | 62,962株 | 22年3月期 | 62,711株 |
| 23年3月期3Q | 11,325,893株 | 22年3月期3Q | 11,326,014株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|---|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) セグメント情報 | 8 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |
| 4. 補足情報 | 9 |
| (1) 仕入実績 | 9 |
| (2) 販売実績 | 9 |
| (3) 種類別販売実績 | 9 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の減速に伴う輸出の減少や耐久財消費刺激策の効果一巡、円高の影響による企業収益の回復足踏みなどにより、景況感を徐々に弱めながら推移しております。

外食業界におきましては、雇用・所得環境の悪化に歯止めがかかってきているものの、景気の先行き不透明感の強まりから消費者の節約志向は根強く、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは中長期的成長を見据え、厳選した好立地への継続的な新規出店の推進、新業態（派生業態）の開発・実験及び既存店舗のサービスレベルの維持向上に注力してまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第3四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営3店舗、ベーカリーレストラン・バケット直営3店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営5店舗、サンマルクパスタ直営1店舗、石焼ごはん倶楽部直営1店舗、石焼チャーハン店直営2店舗、台湾小籠包直営1店舗、サンマルクカフェ直営35店舗、実験中の神戸元町ドリア直営2店舗、倉敷ハンバーグ直営1店舗をそれぞれ出店し（当第3四半期連結累計期間出店数：直営54店舗）、これにより当社グループ全業態の第3四半期連結累計期間末の合計店舗数は、直営店517店舗、フランチャイズ店121店舗、合計638店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高306億91百万円（前年同期比10.3%増）、経常利益49億35百万円（同10.8%増）、四半期純利益24億38百万円（同3.1%増）となりました。

セグメント別の業績等は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は165億48百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は31億71百万円（同8.6%増）となりました。

ファーストフード事業売上高は127億23百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益は22億21百万円（同11.3%増）となりました。

(注) 当第3四半期連結累計期間におけるセグメント情報等の開示に関する会計基準の適用に伴い、従来開示していた事業統括管理部門は後記8ページ「(5) セグメント情報 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」の調整額の欄に開示しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は362億8百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億57百万円の増加となりました。

資産の部は、流動資産は108億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億62百万円の減少となりました。これは主に売掛金が1億5百万円増加した一方、未払法人税等の支払等に伴い現金及び預金が2億51百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は253億44百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億20百万円増加となりました。これは資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う建物及び構築物8億6百万円の増加ならびに事業拡充のための直営店出店等に伴う建物及び構築物5億75百万円、敷金及び保証金4億27百万円が増加したこと等によるものであります。

負債の部は、流動負債は44億69百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億17百万円の減少となりました。これは未払金が2億14百万円及び未払法人税等が7億56百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、28億15百万円で前連結会計年度末と比較して13億49百万円の増加となりました。これは主に資産除去債務12億19百万円の計上に伴う増加等であります。

純資産の部は、前連結会計年度末と比較して14億26百万円増加して289億23百万円となりました。この結果、自己資本比率は79.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した資金は33億5百万円となり、その増加の主なものは税金等調整前四半期純利益43億41百万円の獲得、減価償却費12億93百万円及び資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額3億61百万円等によるものであり、減少の主なものは、法人税等の支払が27億1百万円発生したこと等によるものであります。投資活動におきましては22億63百万円の資金を使用し、その主なものは有形固定資産の取得による支出17億61百万円を行ったこと等によるものであります。財務活動におきましては12億75百万円の資金を使用し、その主なものは配当金の支払9億25百万円及びファイナンス・リース債務返済支出が3億49百万円発生したこと等によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して2億51百万円減少し、82億45百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月12日の決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、部門別（セグメント別）の業績予想につきましては、平成22年11月11日付公表の決算短信のとおりであります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

- ① 固定資産の減価償却費の算定方法に関し、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。
- ② 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測を利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

- ① 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ68,711千円減少しており、税金等調整前四半期純利益は444,092千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,228,753千円であります。

- ② 「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|-------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,245,881 | 8,497,601 |
| 売掛金 | 2,051,724 | 1,945,734 |
| 商品 | 182 | 342 |
| 原材料及び貯蔵品 | 197,144 | 152,026 |
| その他 | 383,521 | 545,335 |
| 貸倒引当金 | △13,937 | △13,788 |
| 流動資産合計 | 10,864,517 | 11,127,252 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 12,385,089 | 11,003,076 |
| 土地 | 2,592,943 | 2,592,943 |
| その他（純額） | 1,841,565 | 1,582,940 |
| 有形固定資産合計 | 16,819,598 | 15,178,961 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 87,154 | 80,843 |
| 無形固定資産合計 | 87,154 | 80,843 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 6,940,817 | 6,512,871 |
| その他 | 1,496,731 | 1,351,240 |
| 投資その他の資産合計 | 8,437,549 | 7,864,112 |
| 固定資産合計 | 25,344,302 | 23,123,916 |
| 資産合計 | 36,208,819 | 34,251,169 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,300,630 | 1,274,076 |
| 未払金 | 1,512,424 | 1,726,997 |
| 未払法人税等 | 649,107 | 1,406,095 |
| 引当金 | 95,884 | 42,937 |
| 資産除去債務 | 9,404 | — |
| その他 | 902,372 | 837,632 |
| 流動負債合計 | 4,469,824 | 5,287,739 |
| 固定負債 | | |
| 引当金 | 62,751 | 51,825 |
| 資産除去債務 | 1,219,349 | — |
| その他 | 1,533,199 | 1,414,390 |
| 固定負債合計 | 2,815,300 | 1,466,215 |
| 負債合計 | 7,285,125 | 6,753,955 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,731,177 | 1,731,177 |
| 資本剰余金 | 3,038,799 | 3,038,799 |
| 利益剰余金 | 24,334,795 | 22,898,638 |
| 自己株式 | △176,074 | △175,286 |
| 株主資本合計 | 28,928,698 | 27,493,329 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,389 | 19,307 |
| 為替換算調整勘定 | △12,394 | △15,422 |
| 評価・換算差額等合計 | △5,004 | 3,884 |
| 純資産合計 | 28,923,694 | 27,497,213 |
| 負債純資産合計 | 36,208,819 | 34,251,169 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 27,830,534 | 30,691,292 |
| 売上原価 | 6,270,537 | 6,799,802 |
| 売上総利益 | 21,559,997 | 23,891,490 |
| 販売費及び一般管理費 | 17,161,172 | 18,970,546 |
| 営業利益 | 4,398,824 | 4,920,944 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,218 | 4,105 |
| 受取配当金 | 3,531 | 3,230 |
| 受取賃貸料 | 85,623 | 68,234 |
| 受取補償金 | 35,798 | — |
| その他 | 40,053 | 41,674 |
| 営業外収益合計 | 167,226 | 117,245 |
| 営業外費用 | | |
| 支払賃借料 | 69,315 | 58,729 |
| 為替差損 | 9,433 | 17,775 |
| 持分法による投資損失 | 1,735 | 479 |
| その他 | 32,212 | 26,181 |
| 営業外費用合計 | 112,696 | 103,165 |
| 経常利益 | 4,453,354 | 4,935,023 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 3,421 |
| 投資有価証券売却益 | — | 1,026 |
| 特別利益合計 | — | 4,447 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | — |
| 固定資産除却損 | 53,688 | 72,910 |
| 減損損失 | 204,319 | 163,354 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 361,460 |
| 特別損失合計 | 258,009 | 597,726 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,195,344 | 4,341,744 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,795,700 | 1,958,110 |
| 法人税等調整額 | 34,044 | △54,869 |
| 法人税等合計 | 1,829,744 | 1,903,240 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 2,438,504 |
| 少数株主利益 | — | — |
| 四半期純利益 | 2,365,600 | 2,438,504 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,195,344 | 4,341,744 |
| 減価償却費 | 1,070,814 | 1,293,474 |
| 減損損失 | 204,319 | 163,354 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 361,460 |
| その他の引当金の増減額 (△は減少) | 89,584 | 63,874 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 320 | 149 |
| 受取利息及び受取配当金 | △5,750 | △7,336 |
| 支払利息 | 10,050 | 7,603 |
| 為替差損益 (△は益) | 9,433 | 17,775 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 1,735 | 479 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △1,026 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | 0 | △3,421 |
| 固定資産除却損 | 53,688 | 72,910 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △196,063 | △105,989 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △31,525 | △44,958 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 59,989 | 26,553 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △8,480 | △76,822 |
| その他 | 172,865 | △99,160 |
| 小計 | 5,626,328 | 6,010,666 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,978 | 3,500 |
| 利息の支払額 | △9,613 | △7,899 |
| 法人税等の支払額 | △2,471,285 | △2,701,137 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,149,408 | 3,305,129 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,156,201 | △1,761,039 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 22,529 | 7,482 |
| 有形固定資産の除却による支出 | △21,518 | △5,262 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △8,222 | △23,345 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △58 | △52 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 2,148 |
| 資産除去債務の履行による支出 | — | △4,650 |
| その他 | △268,022 | △478,508 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,431,493 | △2,263,227 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △771 | △799 |
| 自己株式の売却による収入 | 128 | 11 |
| 配当金の支払額 | △811,737 | △925,775 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △238,848 | △349,282 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,051,228 | △1,275,846 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △9,433 | △17,775 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 657,252 | △251,720 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,510,970 | 8,497,601 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,168,222 | 8,245,881 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、外食事業を展開する上で必要なインフラ機能（業態・商品開発機能、店舗開発機能、教育機能、管理機能等）を保有する持株会社であり、グループ内の事業子会社が保有する既存の業態（既存店）の運営にできるだけ専念できる環境をつくるなどグループ内の機能設計を行っております。また各連結子会社はそれぞれ外食業態の運営を行っております。

したがって、当社グループは連結子会社を基礎としたセグメントから構成されており、「レストラン事業」及び「ファーストフード事業」の2つを報告セグメントとしております。

「レストラン事業」は、「ベーカリーレストラン・サンマルク」等の運営、「すし処函館市場」の運営、「ベーカリーレストラン・パケット」等の運営、「生麺工房鎌倉パスタ」等の運営及び「広東炒飯店（石焼ごはん倶楽部・石焼チャーハン店）」等の運営を行っております。「ファーストフード事業」は、「サンマルクカフェ」の運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 (注) 1・2 | 四半期連結損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|------------|------------|------------|----------------|----------------------------|
| | レストラン | ファーストフード | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 16,548,183 | 12,723,871 | 29,272,055 | 1,419,237 | 30,691,292 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 16,548,183 | 12,723,871 | 29,272,055 | 1,419,237 | 30,691,292 |
| セグメント利益 | 3,171,855 | 2,221,140 | 5,392,995 | △472,050 | 4,920,944 |

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価305,501千円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,585,787千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

「参考資料」

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント情報等の開示に関する会計基準の適用に伴い、従来開示していた事業統括管理部門は前記8ページ「(5)セグメント情報 2. 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」の調整額の欄に開示しております。

(1) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

| セグメント | 金額 | 前年同期比(%) |
|----------|-----------|----------|
| レストラン | 3,967,814 | 107.9 |
| ファーストフード | 2,549,589 | 109.0 |
| 合計 | 6,517,403 | 108.3 |

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

| セグメント | 金額 | 前年同期比(%) |
|----------|------------|----------|
| レストラン | 16,548,183 | 109.7 |
| ファーストフード | 12,723,871 | 111.4 |
| 合計 | 29,272,055 | 110.4 |

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 種類別販売実績

当第3四半期連結累計期間の種類別販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

| 種類別 セグメント | 直営店売上 | | ロイヤリティ収入 | | F C 関連等売上 | | 合計 | |
|--------------|------------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|
| | 金額 | 前年同期比 (%) | 金額 | 前年同期比 (%) | 金額 | 前年同期比 (%) | 金額 | 前年同期比 (%) |
| レストラン | 14,385,017 | 113.6 | 591,497 | 82.1 | 1,571,668 | 92.0 | 16,548,183 | 109.7 |
| ファーストフード | 12,328,103 | 111.6 | 63,695 | 102.1 | 332,072 | 105.9 | 12,723,871 | 111.4 |
| 合計 | 26,713,121 | 112.7 | 655,193 | 83.7 | 1,903,740 | 94.2 | 29,272,055 | 110.4 |

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。